

モロッコ国油温減圧式乾燥機の導入による オリーブ搾油粕の資源化のための案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：エコステージエンジニアリング株式会社
- 提案企業所在地：福岡県福岡市
- サイト・C/P機関：フェズ・メクネス州、エネルギー・鉱山・水利・環境省、セブ川流域水利局

油温減圧式乾燥機



写真は車載型乾燥機

モロッコ国の開発課題

オリーブオイルの搾油工場から排出される廃液および搾油粕（以下、グリニョンという）が増大の一途を辿っており、近隣地域で水質汚染を引き起こしている。政府は早急な対策を検討しているものの、湿潤グリニョンにかかる適正処理の方法が確立していないため、搾油シーズンを中心に地域の水質が悪化し続けている。

中小企業の技術・製品

- 「油温減圧式乾燥機」を利用することによって、湿潤グリニョンを燃料・飼料・肥料等に資源化することが可能である。
- 同製品は食肉加工残渣等の水分含有量が高く、腐りやすい廃棄物から畜産飼料、養殖用餌料、肥料等を製造する方法である。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

本調査を通じて、普及・実証事業を計画する。同事業により湿潤グリニョンの資源化・付加価値化を支援する。また、対象地域への「油温減圧式乾燥機」の導入、関係者の技術力強化、搾油工場の意識改善といったコンポーネントにも取り組む方針である。これら取り組みによって、オリーブ搾油工場からの廃棄物問題を解決するばかりでなく、環境負荷の少ないオリーブ産業の育成に貢献することが期待できる。

日本の中小企業のビジネス展開

- 普及・実証事業を通じて、モロッコ国内への普及展開に必要な機材承認（脱公害化のための補助金制度等）を得るとともに、オリーブ搾油粕の資源化のためのビジネスモデルを提示する。また、同国の民間企業や国際機関等の視察受入、及び同国で毎年開催される「モロッコ環境展」に製品出展を行う。この他、現地民間企業や地方自治体との協力に基づく投資計画および営業・メンテナンス活動の基盤を整備する。